拒絶理由条文リスト使用説明書

ver.1.0.10

綾木健一郎

Ken’ichiro\_ayaki@nifty.com

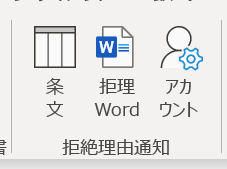
１．何をするものなのか

　Excel表に記載された出願番号リストに基づき、拒絶理由通知書に記載されている詳細な拒絶理由（拒絶理由の条文番号）をそのExcel表に追記するものです。

　これにより、実施可能要件（第３６条第４項第１号）、サポート要件（第３６条第４項第１号）、明確性（第３６条第６項第２号）、委任省令要件（特許法第36条第4項第1号）、先行技術文献情報開示要件（特許法第36条第4項第2号）、簡潔性要件（特許法第36条第6項第3号）、特許請求の範囲の記載に関する委任省令要件（特許法第36条第6項第4号）の拒絶理由を受けた割合などを評価し、よって代理人または特許技術者を評価可能となります。

２．使い方

・「出願番号」列を含むExcelデータを開く。



・「条文」をクリックすると、新たに「@条文n」の蘭が追加されて、拒絶理由条文が順番に追記される。

・「拒理Ｗord」をクリックすると、新たに「@条文n」の蘭が追加され拒絶理由条文が順番に追記されると共に、拒絶理由通知のWordファイルが生成される。このWordファイルはExcelデータと同一名のフォルダ内に生成される。

・「アカウント」をクリックすると、アカウントとキャッシュ期間の設定が可能です。

　IDには、特許情報取得APIのIDを設定します。

　Passwordには、特許情報取得APIのPasswordを設定します。

　トークンパスには、<https://ip-data.jpo.go.jp/auth/token> を設定します。

　キャッシュ有効日には、APIで取得したキャッシュデータの有効日を設定します。ここには例えば 60 を設定してください。

　アカウントとキャッシュ期間を設定したら、「トークン取得」ボタンをクリックしてください。正しくアカウントが設定されていれば、トークンが取得されます。その後「OK」ボタンをクリックして、アカウントとキャッシュ期間を保存してください。